

第2回 秋田市北部地区公共交通研究会議事要旨

1 日 時 平成19年7月3日(火) 午後6時30分～午後8時00分

2 場 所 北部公民館 2階大会議室

3 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長、交通政策室長挨拶
- (3) 委員、アドバイザー委員紹介(新任)、職員紹介
- (4) 議題
公共交通活性化総合プログラムの調査結果概要について
実証実験運行形態案について
(説明資料)
秋田市北部地区における予約型乗合タクシーの運行形態等について
秋田市北部地域郊外部路線図(案)
秋田市北部地区における予約型乗合タクシーの運用方法について
秋田市北部地区における予約型乗合タクシーの乗降例
北部地区4路線代替運行時刻案
北部地区4路線代替運行料金(運賃)案
実証実験に関する依頼事項について
モニターの協力依頼について
バス停以外でミーティングポイントを設定する場所の意向調査
秋田市北部地区公共交通研究会等スケジュール(実施案)
その他
- (5) 閉会

4 出席委員

(1)古井委員	(金足地区振興会会長)
(2)鎌田委員	(下新城地区振興会会長、新任)
(3)宇佐美(農)委員	(下新城上小友町内会会長)
(4)永田委員【会長代行】	(上新城地区市民協議会会長)
(5)白岩委員	(上新城地区市民協議会副会長)
(6)富樫委員	(秋田北中PTA会長、新任)
(7)小野委員	(金足西小PTA会長、新任)
(8)古木委員	(上新城小PTA会長、新任)
(9)加藤委員	(追分商店会会長)
(10)菊地委員【会長】	(飯島商工振興会会長)
(11)児玉委員	(秋田中央交通株式会社営業部長)
(12)佐藤委員	(秋田県ハイヤー協会専務理事)
(13)菅原委員	(秋田市都市総務課交通政策室長、新任)

(アドバイザー)

(1)木村委員	(秋田大学工学資源学部教授)
(2)大滝委員	(秋田運輸支局首席運輸企画専門官)

5 欠席委員

(1)奈良委員	(金足地区振興会副会長、新任)
(2)宇佐美(正)委員	(老人クラブ連合会北部地区社会福祉委員)

6 事務局出席者

工藤交通政策室長補佐
小玉交通政策室副参事
池田交通政策室主査

7 議事要旨

- 司 会 それでは、次第に従って、進めていく。
最初に、2の会長、室長の挨拶ですが、会長の挨拶は議事の前にお願いすることとして、交通政策室長から挨拶をお願いする。
- 室 長 (挨拶する)
- 司 会 この度、年度替わりなどで委員の一部が交替されておりますので、私から関係委員、アドバイザーを紹介する。(紹介する)
- 司 会 これより議事に入るが、規約により、会長が議長を務めることになっているので、会長から議事進行をお願いする。
- 議 長 これから、皆様のご協力を得ながら順次進めさせていただきたいと考えている。それでは議事に入る。
公共交通活性化総合プログラムの調査結果概要について(資料1)と 実証実験運行形態案について(資料2～7)を事務局より一括して説明をお願いする。
- 事務局 (説明する)
- 議 長 以上の議事についての質問、ご意見があればお願いする。
- 委 員 今説明があった内容を、利用者に対してどのように説明するのか。
- 事務局 今月末から来月上旬までの間に、現在バスを実際に利用している方を対象として、3地域センターにおいて説明会を開催したいと考えている。
- 委 員 岩手県雫石町の「あねっこバス」は主だったバス停に専用電話を設置し、無料で利用できるようにして、一日5～6便を運行して、値段は一律200円である。
また、滋賀県米原市の「らくらくタクシー」の場合には一律300円として、残りの経費は市が負担しているようだ。
それに比較して、今日提案された料金案は多少複雑ではないだろうか。
下新城コースでは、笠岡と内畑間のみを利用する場合には値上がり幅が大きいようである、金足コースは、乗り継ぎ区間を含めて全体的に値上がりする区間が多いような印象である。値上がり額を均等にすることはできないものか。
また、10人以上予約があった場合には2台運行するのか。高齢者にとってはいいことであるが、枝部分に利用者が多くて、あちこちに入り込んだ場合、20分程度かかり増しすることも考えられるほか、冬期対策などを考慮した場合には心配な点ばかりである。
- 事務局 この提案内容で本格運行するとした場合、現在のバス利用者がそのままこの乗合タクシーを利用するのかどうか、その動向が分からないので、委員が心配と感じたことは理解できる。
しかしながら、今回の運行形態は実証実験の6日間が対象である。この方式で現在のバス利用者が乗合タクシーを利用していただけるのか、また、利用者が多くて乗り残しがあるのかなど不安な要素はたくさんある。
実施前からあれこれ不安に思ってもどうしようもない、この実証実験でデータを集めながら本格運行につなげていきたいと考えている。

また、「あねっこバス」の指摘はそのとおりだと思う。

現時点では、外出先から高齢者などが円滑にタクシーの予約の電話をかけることができるのかどうかが一番気がかりな点である。

各乗継拠点やその周辺で、電話予約を代行する協力者を探し、協力を依頼することも検討している。

議長 この実証実験の結果次第では、利用者が利用しやすいように修正もできるので、本格運行に向けて、今後の検討を続けていきたいと考えている。
それでは、次の議題である 実証実験に関する依頼事項について(別紙1と2)の説明をお願いします。

事務局 (説明する、モニターの依頼の件とミーティングポイントの設置の件)

議長 以上の議事についての質問、ご意見があればお願いします。

委員 免許を持たない高齢者などが現在に至るまで、路線バスを通院などのために利用してきたが、利用者が年々減少したためにバス事業が成り立たなくなってきたのではないのかと思うのだが、代替としてタクシーが運行されて公共交通を維持できることはありがたいことである。
いろいろな点で不安があると思うけれど、やってみないとわからないこともたくさんある。その際に発生した問題はひとつずつ解決していけばよい。

委員 各地区2名のモニターについて、金足コースと下新城コース各2名とのことか。

事務局 金足コースと下新城コースは、地区の区分とコースの区分が一致していないが、各地区ごとに2名ずつでお願いしたい。

委員 3つの地域センターにおいて説明会を開催するとのことだが、バス利用の中心は高齢者であり、説明会当日もこの方々が参加すると思うので、「デマンド」など横文字を使用しないで理解できる語句を用いて説明してほしい。

委員 デマンド方式は大変結構なことあるが、接続するバスやその次に乗り換える電車などに確実に乗換えができるように、定時制を確保できるのか。

事務局 利用実態から、上り・下りの両方とも利用者がいる便はほとんどない。
例えば、夕方では、下り便が利用者のために寄り道して多少遅れても、利用者のほとんどいない上り便で挽回が可能であると考えている。

複数委員 (やってみないとわからない。)との発言が複数ある。

委員 居住者以外の例えば、金足黒川にある三浦^{みうらやしき}邸などへの観光客に対する周知方法はどうするつもりか。
先日、見学者から「バスの便が2時間ないというのはなぜか。」と尋ねられたと聞いた。

議長 最後の議題である 秋田市北部地区公共交通研究会等スケジュールについて(資料8)の説明をお願いします。

事務局 (説明する)

議長 以上の議事についての質問、ご意見があればお願いします。

委員 この度の会議開催について、連絡が遅かったため、ほかの委員で既に日程がふさがっている委員もいたので、できれば1か月位前までに連絡するようにしてほしい。

委員 事前に話を聞いた際には、1月に本格実施と伺っていたが、今日の説明は3月実施となっている。なぜ、実施日が変更になったのか教えてほしい。

事務局 当初1月からの実施を考えていたところだが、9月に行う実証実験を検証する時間をもう少し長く設けたことがよいと判断したことと、厳冬期に運行形態を変更することは困難と考えた結果、2か月先送りしたものである。

委員 結果的には、実証実験を終了してから本格運行開始までは、約半年の間隔が開く。あまり多くの時間を空けると、せっかく覚えていただいた電話予約のやり方等を忘れてしまうのではないのか。

委員 先ほどの質問と関連するが、秋田駅前に案内板などを設置する予定はあるのか。また、電話予約する番号は3コースとも同一となるのか。

事務局 実証実験では、3路線とも同一の番号で受付することとしたい。案内板の設置などの本格運行に関しては実証実験の状況を見てから決定する予定である。

委員 三浦邸など観光地の案内はしっかりやっていただきたい。

委員 本格運行後でも運行形態などを変更できるのか。

事務局 運行事業者との契約などの関係で、本格運行後の更新は平成20年10月を予定している。運行後はこの研究会が運行協議会に組織変更される予定なので、会議において変更事項を提案いただければ、その席上で議論していきたい。

議長 以上をもちまして今日予定していた議題はすべて終了した。

以上